



2003 年度採集観察会

1. 期 日 第1回 5月11日(日) 第2回 7月13日(日)
第3回 10月19日(日) 第4回 2月15日(日)
談話会の観察採集会は晴雨にかかわらず実施します。
2. 場 所 さいたま緑の森博物館 (埼玉県入間市, 所沢市)
3. 集 合 西武池袋線小手指駅南口 10時10分(10時22分出発)
4. 世話人 今井正巳, 谷川明男
5. 問い合わせ先
今井正巳 〒229-0038 相模原市星が丘 1-5-5 Tel 042-755-3086
E-mail 0413441701@jcom.home.ne.jp
6. その他 バスが1時間に2本程度しかありません。10:22 10:50
昼食は事前に用意してください。

2003 年度合宿

前回の通信でもお知らせしましたが、本年度の合宿は日本蜘蛛学会の北海道大会(糠平, 8/23~24)に合わせて実施いたします。詳細な行程表は直接参加者に送付いたします。

1. 日 時 2003年8月20日(水)~22日(金)
2. 宿 舎 糠平館観光ホテル 〒080-1403 北海道河東郡上士幌町糠平
4. 費 用 宿泊費(1泊3食)約8000円, 旅行保険+通信費1000円
3. 担 当 甲野 涼・新海 明

参加ご希望で申し込みがまだの方は5月11日までに、甲野 涼までご連絡ください。

5月11日の採集会当日に新海 明へお申し込みいただいても結構です。

甲野 涼 186-0002 東京都国立市東 3-11-18 (有) エコシス 東京クモ談話会事務局内

Tel:042-571-1012 E-mail: kono-ecosys@h8.dion.ne.jp

2003 年度総会・例会報告

談話会総会例会は、2003年4月20日(日)ソレイユさがみセミナールームで行われました。

自己紹介 10:30

梅林さん: 篩板類の糸いぼの電子顕微鏡写真に挑戦(オウギグモ, マネキグモなど)しています。井の頭線・永福町駅にて連絡してくれば迎えに行きます。



2003 年度総会例会参加者

中島さん：オペラ「夜叉蜘蛛」の公演が 10 月 4 日（土）に決定。また、新作の無伴奏女声合唱曲「ビリティスの花」（さわみどり作詞，中島はる作曲。全音楽譜出版社，1300 円）には蜘蛛やヤモリの曲があります。第 11 曲「小さなクモ」は次のような詞です。

わたしの心の中には
小さなクモが棲みついでいて
晴れた日には
透き通る糸を空へ流して
飛び立とうとするのだけれど

風が迎えに来てくれないので
いつまでも
飛び立てないでいる
わたしの小さなクモ

小澤さん 合宿に参加を検討しています。

八幡さん 野田市の蜘蛛調査を行っています。

谷川さん 沖縄の調査を続けています。コガネグモ科のクモにはまだオス不明のものがいます。

池田さん 足柄高校から西湘高校へ転勤しました。

土屋さん 観察会に参加します。

新村さん 森林インストラクターとして活動しています。

泉さん 3時間かかって来ました。今は鳥の観察が中心です。

佐藤さん 家のオオヒメグモを観察中です。

今井さん 相模原を堪能して下さい。

のちに見えた方々：工藤さん、萩本さん、安田さん、井出さん、永井さん、谷田さん、初芝さん、甲野さん、子供二人。

午前の講演

(1) 池田博明：ジャバラハエトリグモ *Helicium* 属



現在、*Helicium* 属とされている種のうち、真の *Helicium* 属はコジャバラハエトリ（平地性）とジャバラハエトリ（山地性）だけである。他にネパールで記載されたヒラリージャバラハエトリがある。千国図鑑のジャバラハエトリの一種 (A) チクニハエトリ *Helicium chikunii* (Logunov & Marusik 1999) は *Helicium* ではないし、千国図鑑のジャバラハエトリの一種 (B) は韓国で記載された *Helicium kimjoopili* Kim 1995 も *Helicium* ではない。他に *Helicium* の未記載種が数種あり、本州でもジャバラハエトリに似た種があるので要注意。

(2) 今井正巳：吸虫管を作ろう

フィルムケースにドリルで穴を開け、ビニール管を通し、片方をストッキングでおさえる工作実習。



総会

議長 小澤さん、書記 萩本さん

- ・2002年度活動報告 会誌（池田：82号・83号を発行しました）、通信（今井：3回発行）、採集会（今井：4回実施）、合宿（萩本：那須にて実施）。
- ・2002年度決算報告（p.5参照）
- ・2003年度 活動計画 会誌（池田：84号・85号）、通信（谷川：年3回。他の人も参加したくなる原稿募集中）、採集会（今井：埼玉県入間市さいたま緑の森博物館）、合宿（初芝：北海道の糠平館観光ホテル。現在5名。5月の採集会まで締め切り）
- ・2003年度予算（p.6別紙参照）
- ・その他（役員変更：事務局は今井さんから初芝さんへ、通信は石島さんから谷川さんへそれぞれ変更になります）。
- ・高橋登さん、藤井靖浩さんの冥福を祈って黙祷。

午後の講演

(3) 加藤むつみ：トゲグモの道に書ききれなかった事



会誌に「トゲグモの道」を2回発表したものの、トゲグモの分布調査をしたつもりはなかった。クモがどこから来て、どこへ行くかが知りたかった。つまり文字通り、トゲグモの「道」である。移動の結果、局地的に分布するトゲグモ、移動にはなにかメリットがあるはずである。クモの生息に影響を与えない調査として、卵のうの分布を調査した。トゲグモの産卵は8月下旬から10月初旬と推測している。卵のうは道に面したところにあった。下草が少ない、風が通る道すじに沿って移動するのではないかと推測できた。

(4) 八幡明彦：鹿児島のコガネグモ2

クモ合戦で有名な鹿児島県でコガネグモの成長を把握した。クモ合戦のチャンピオン、谷口さんを始め地元の方の知恵を科学的に知ると同時に、関東のクモを合戦に強いクモに育てる方策を模索する試みである。薩南の養鶏場地区、段々畑地区、加治木町、千葉県館山市の個体群のサイズを秋・冬・春のそれぞれに比較調査した。薩南のコガネグモは冬季に成長し、他との差がつく。生食および腐食連鎖由来の昆虫の発生によるのだろう。



(5) 谷川明男：20年目の沖縄



春休みは沖縄の新緑（ウリズン）である。今春はヤンバルユレイグモが葉裏に無粘性の不規則網を張ることを観察した。タニカワアシナガグモの水平円網、中央に枯れ枝を置くリュウキュウアシナガグモの網、日本最大の徘徊性オオハシリグモ（奄美大島、沖縄島、渡嘉敷島）などを紹介。オオジョロウグモの出のう幼体は葉の表面に網を張るが、その写真が撮れた。西表島には、まだ名前の付いていないクモがある。ムツボシハエトリ、ツツゲホウグモ、台湾から侵入したオオハラダカグモなどの写真を紹介した。

本号から使わせていただいている談話会通信の表題は小澤實樹さんの作品です

2002 年度決算

収入の部

項 目	予算額	決算額	増 減	備 考
1. 02 年度納入会費	278,200	691,200	413,000	欄外 1
(1)02 年度分として	278,200	251,000	-27,200	
(2)03 年度以降前納分として	0	440,200	440,200	
2. 雑収入・寄付	0	19,571	19,571	
3. 別刷り代	0	41,430	41,430	
4. 利息	0	5,192	5,192	
収入合計	278,200	757,393	479,193	
5. 繰越金	1,504,917	1,504,917	0	
(1)02 年度以降前納会費	599,800	599,800	0	
a. 02 年度分	430,400	430,400	0	
b. 03 年度分	106,000	106,000	0	
c. 04 年度分	33,200	33,200	0	
d. 05 年度分	16,000	16,000	0	
e. 06 年度分	10,400	10,400	0	
f. 07 年度分	3,800	3,800	0	
(2)特別会計（プール金）	905,117	905,117	0	
預け先：郵便貯金（普通）	773,495			
(定額)	657,477			
振替口座	19,000			
現金	54,945			
合計	1,783,117	2,262,310	479,193	

支出の部

項 目	予算額	決算額	差 引	備 考
1. 会誌作成	500,000	425,250	-74,750	
2. 会誌発送	105,840	81,210	-24,630	
3. 別刷り作成・発送	0	43,650	43,650	
4. 談話会通信	111,150	96,420	-14,730	
5. 事務局等通信費	38,500	44,100	5,600	
6. 事務用品等	25,000	12,194	-12,806	
7. 予備費	0	60,825	60,825	
支出合計	780,490	763,649	-16,841	
8. 繰越金	1,002,627	1,498,661	496,034	
(1)03 年度以降の前納会費	169,400	609,600	440,200	
a. 03 年度分	106,000	445,000	339,000	
b. 04 年度分	33,200	119,200	86,000	
c. 05 年度分	16,000	27,400	11,400	
d. 06 年度分	10,400	14,200	3,800	
e. 07 年度分	3,800	3,800	0	
(2)特別会計（プール金）	833,227	889,061	55,834	
預け先：郵便貯金（普通）		1,185,268		
(定額)		231,704		
振替口座		64,600		
現金		17,089		
合計	1,783,117	2,262,310	479,193	

欄外 1：02 年度会費は、前納分とあわせて 643,400 円受領

以上相違ありません。2003 年 4 月 14 日 会計 安田明雄 会計監査 梅林 力

*02 年度、藤沢庸助さんから寄付をいただきました。感謝申し上げます。

2003 年度予算

収入の部

項 目	金 額	備 考
1. 03 年度納入会費	282,400	前納会費とあわせて 727,400 円 欄外
(1)03 年度分として	282,400	
(2)04 年度以降前納分として	0	
2. 雑収入・寄付	0	
3. 別刷り代	30,000	
4. 利息	4,500	
収入合計	316,900	
5. 繰越金	1,498,661	
(1)03 年度以降の前納会費	609,600	
a. 03 年度分	445,000	
b. 04 年度分	119,200	
c. 05 年度分	27,400	
d. 06 年度分	14,200	
e. 07 年度分	3,800	
(2)特別会計（プール金）	889,061	
預け先：郵便貯金（普通）	1,185,268	
（定額）	231,704	
振替口座	64,600	
現金	17,089	
合計	1,815,561	

支出の部

項 目	金 額	備 考
1. 会誌作成	500,000	250,000 円×2 回（84, 85 号）
2. 会誌発送	107,460	270 円×199 人×2 回
3. 別刷り作成・発送	30,000	
4. 談話会通信	90,000	30,000 円×3 回（108,109,110 号）
5. 事務費・通信費	45,000	欄外 2
6. 事務用品等	15,000	
7. 予備費	30,000	
支出合計	817,460	
8. 繰越金	998,101	
(1)04 年度以降の前納会費	164,600	
a. 04 年度分	119,200	
b. 05 年度分	27,400	
c. 06 年度分	14,200	
d. 07 年度分	3,800	
(2)特別会計（プール金）	833,501	
合計	1,815,561	

欄外 1：3, 800 円×183 人+2, 000 円×16 人-445, 000 円（前納）=282, 400 円

欄外 2：事務局 5, 000 円，編集 5, 000 円×3 人，通信 6, 500 円，会計 5, 000 円

通信費等 13, 500 円

2002 年度会員動向

2002 年 4 月 1 日時点の会員数 195 名

入会 13 人，退会 9 名（希望 6 名，逝去 2 名，規約 1 名）

2003 年度 4 月 1 日現在の会員数 199 名（一般 183 名，学生 16 名）

出ました！『沖縄クモ図鑑』



谷川明男さんの『沖縄クモ図鑑』が突然、出版されることになった（2003年4月24日）。『沖縄クモ図鑑』は数年前に沖縄出版で企画されたが、出版社のアクシデントで中止になってしまった。谷川さんはCDで『沖縄のクモ』写真集を自費で作製して（2002年4月）、出版中止を惜しむ声に応えてくれていた。しかし、この採算の合わない企画を取り上げてくれる出版社が現れたのである。

このたび文葉社から発行された『沖縄クモ図鑑. 珍しい沖縄のクモ 217種!』は384枚のカラー写真（雌雄が掲載されている種も多い）と12枚の白黒生態写真から成る96頁A5判の野外へ持参できる写真図鑑である。この図鑑を見た人は見たことのないクモが多いのに仰天することだろう。沖縄に行き始めた20年前の谷川さんの困惑ぶりを追体験することができよう。その頃多くの沖縄のクモには、まだ名前が付いていなかったのである。本図鑑の末尾の「沖縄県産クモ類目録（2003年版）」によると、314種中、1983年以降に命名された沖縄のクモは127種もある。それ以降、谷川さん御自身を含めて、多くの研究者が沖縄のクモを研究してきた。その研究標本の多くを提供したのも谷川さんであり、また本図鑑の写真すべてが谷川さんの撮影したものである。数ミリのサラグモから大型のオオジョロウグモまでのすべて！

したがって、この図鑑は20年間の谷川さんの足跡でもある。定価は2600円。この小出版社はこれほどのカラー写真を使った本を出したことがなく、この出版は賭けであると想像される。一度買い損ねたら、あなたは一生後悔することだろう。

地方小出版扱いなので、書店に出ない地域もある。インターネット上から送料無料の直販もあるので、参考まで。文葉社のURLは、<http://www.bunyou.co.jp/>

沖縄クモ図鑑 めずらしい沖縄のクモ 217種！ 写真・解説 谷川明男（2003）文葉社
96p. ISBN4-9980907-9-8 本体 2600円

著者あてに連絡すれば手渡しの場合 2200円、郵送の場合 2500円で入手できる。

248-0025 鎌倉市七里ガ浜東 2-3-1 県立七里ガ浜高等学校 谷川明男

E-mail: dp7a-tnkw@j.asahi-net.or.jp

（池田博明記）

東京蜘蛛談話会の会費は、一般 3800円、学生 2000円です。

郵便振替口座 00170-8-74885 東京蜘蛛談話会へお願いします。

会計担当は安田明雄 226-0011 横浜市緑区中山町 329-1 中山駅前ハイツ 1-506

E-mail : kobato@gol.com

スズミグモの色彩変異全国一斉調査

昨年まで新海明さんが中心となって、スズミグモの分布調査が行われていました。その続編として色彩変異の調査を提案いたします。スズミグモには緑褐色系の地色に白色のまだら模様があるものと赤色系の地色でほとんどまだらのないものなどがあります。経験的には、本州などの北方では緑褐色に白色のまだらが多く、九州から南西諸島など南方では赤色でまだらなしが多いように思われます。このあたりのことをきちんとカウントしてみようではありませんか。多くの会員のご賛同とご協力をお願いいたします。

調査期間：2003年6月1日～
9月30日

調査地：日本全国

調査方法：以下の要領で、発見したスズミグモの雌の色彩型とその個体数をお知らせください。

送付先：248-0025 鎌倉市七里
ガ浜東 2-3-1 県立七里ガ浜高等

学校 谷川明男 E-mail: dp7a-tnkw@j.asahi-net.or.jp (申し訳ありませんが、郵送の場合、郵送料はご負担ください。)



緑褐色でまだらあり

赤色でまだらなし

1. 調査地 () 都道府県 () 郡市 () 区町村

2. 調査日 2003年 () 月 () 日

3. 観察したスズミグモの色彩、発育段階とその個体数

緑褐色でまだらあり 成体・幼体・不明 () 個体

赤色でまだらなし 成体・幼体・不明 () 個体

その他 () の色彩のもの 成体・幼体・不明 () 個体

同一地域で継続的に観察される場合には、なるべく同一個体をカウントしないようにご注意ください。

入退会は：

事務局 初芝伸吾 186-0002 東京都国立市東 3-11-18-201 (有) エコシス

E-mail : hatsushiba-ecosys@h8.dion.ne.jp

通信原稿投稿先：

通信担当 谷川明男 248-0025 鎌倉市七里ガ浜東 2-3-1 県立七里ガ浜高等学校

E-mail : dp7a-tnkw@j.asahi-net.or.jp

KISHIDAIA 原稿投稿先：

会誌担当 池田博明 258-0018 足柄上郡大井町金手 1099

E-mail : fwgd9084@mb.infoweb.ne.jp